

高岡市総合計画第3次基本計画「まちづくり指標」進捗状況一覧表

(◎は総合計画まちづくり指標と総合戦略KPIを兼ねる指標)

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	H29年度実績値	H30年度実績値	R1年度(目標値)	R1年度実績値	①R1年度達成率	R2年度(目標値)	R2年度実績値	②R2年度達成率	R3年度(目標値)	分析と対応	R3の取り組み内容等
1	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	①新たな事業活動の創出	◎創業件数(累計)	創業支援事業計画を基にする創業件数により算出(観光地及び中心市街地での開業件数を含む。)。5年間で600件の創業件数を目指す。	増加指標	件	159	149	311	360	561	155.8%	480	732	152.5%	600	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和元年度に比べて数値は下がったものの、とやま呉西圏域で開催した創業セミナーや、創業支援事業補助金等を通して、創業機運の醸成を図るとともに、各支援機関との連携による切れ目のない支援により、目標を達成することができた。	引き続き、とやま呉西圏域都市圏ビジョンや、創業支援事業計画に基づき、各支援機関と連携してコロナ禍の中での創業支援について必要な支援を行う。
2	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	②地域産業の競争力強化	◎新技術・新製品・新サービス開発件数(累計)	新分野開拓チャレンジ事業補助金の採択結果を基にフォローアップ。毎年20件の増加を目指す。	増加指標	件	7	11	14	60	15	25.0%	80	41	51.3%	100	令和2年度の新技术・新製品開発補助金と地域資源活用事業支援補助金は、例年に比べ申請数が多く、支援件数は11件と増加した。また、コロナ禍における事業者支援として、令和2年度限定でシフト「新しい生活様式」支援補助金を実施した。新商品開発の補助金としての支援件数は15件であり、商品開発支援に加え、コロナ禍における新しい生活様式の普及にもつながったものとする。今後も企業訪問等を通じて、効果的な事業者支援を展開する。	これまで行ってきた新分野開拓チャレンジ事業補助金は、令和3年度から未来につなぐチャレンジ事業補助金として実施することとしており、新技术・新製品の開発を支援するための補助金に加え、令和2年度に実施したシフト「新しい生活様式」支援補助金における商品開発支援の内容も含めている。今後も企業訪問やメール等での情報発信に努め、引き続き、事業者ニーズに応じた商品開発等の支援を展開する。
3	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	②地域産業の競争力強化	◎伝統産業の生産額	富山県の調査に基づく伝統的工芸品の生産額	維持指標	百万円/年	12,374	11,659	11,495	12,670	10,716	84.6%	12,670	10,663	84.2%	12,670	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対面販売等による販売が低迷したこと等が生産額の減少につながったものと考えられる。令和2年10月に移転オープンした高岡地域地場産業センターには写真・動画等デジタル素材の作成・活用を支援する「ST@R-ZIBA(スターバー)」を整備するなど、ポストコロナ社会に向けてオンライン等販売方法の多様化、多角化に向けた取り組みの支援体制を整備した。	引き続き、各伝統産業の生産額の維持・増加を目指して、各組合や事業者が、ポストコロナ社会においても積極的に活動できるよう支援する。
4	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	③産業基盤の整備・企業立地の推進	◎企業団地への進出企業数(累計)	企業団地への分譲実績を踏まえ、毎年2件の分譲を目指す。	増加指標	社	3	4	4	6	11	183.3%	8	13	162.5%	10	令和2年度において、市の産業団地の全ての分譲が完了した。市内外の企業への企業誘致活動や産業団地の分譲推進、支援施策等の提案を積極的にすることで、設備投資の推進につながったものとする。	これまでの支援に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がある中においても、巣ごもり需要、電子商取引増による物流量増等、需要の伸びが見られる業種もある。引き続き、多様な規模・業種の立地ニーズに対応した企業誘致活動を推進する。
5	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	④中小・小規模企業の経営基盤強化	専門家派遣利用企業数	高岡市中小企業支援専門家派遣事業補助金の交付実績を基に算出	維持指標	件/年	11	5	4	11	4	36.4%	11	3	27.3%	11	企業訪問等を通じて、支援制度の活用を積極的に動めているが、実際の活用に結び付いていない。企業向けのメールマガジンや広報誌などを通じて更なる周知を図る。	各機関の専門家派遣を利用された事業者のみ対象となるため、実際に派遣を受けた事業者に直接周知を行うことで着実に利用していただけるものとする。そのため、令和3年度は専門家派遣を実施している機関との連携を密にし、周知を徹底する。
6	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	④中小・小規模企業の経営基盤強化	伝統産業の技術・技法の継承者が市内企業に定着する人数(累計)	高岡市伝統工芸産業希少技術継承事業補助金の交付対象者(継承者)の人数。30年度まで毎年1人、31年度から2年に1人の増加を目指す。	増加指標	人	1	1	2	3	2	66.7%	4	2	50.0%	5	育成者の高齢化が進む中、希少技術の継承が急務である。令和元年度から本補助金を休止しているが、「高岡市伝統工芸産業人材養成スクール」のコース内容の拡充を図り、デザインから造形まで、トータルな工芸技術の習得を通して、次代を担う人材を養成する。	令和元年度から本補助金を休止しているが、「高岡市伝統工芸産業人材養成スクール」のコース内容の拡充を図り、デザインから造形まで、トータルな工芸技術の習得を通して、次代を担う人材の養成に取り組む。
7	地域産業	1 ものづくり産業が時代の流れに対応し、活性化している	⑤雇用・勤労者福祉の充実	合同就職面接会における就職率	合同就職面接会に参加した求職者のうち採用された者の割合。直近3年の平均値を超える割合を維持する。	維持指標	%	12.2 (H25-H27の平均値)	17.9	17.2	13.0	10.4	80.0%	13.0	3.8	29.2%	13.0	例年テクノドームで行っている面接会だが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響があり、規模を例年の1/10程度に縮小して2月に小規模で開催した。6社参加、求職者26名、就職者1名。コロナ禍により上半期は有効求人倍率が低迷し、下半期に入りやや改善傾向がみられたものの、コロナ禍に対応した事業展開が遅れをとったため実績が上がらなかった。(※なお、開催日は大雪でありその影響もあったと考えられる)	令和3年度も小規模面接会を予定している。令和2年度は年1回開催であったが、令和3年度は年3回の開催予定とし、求職者の多い製造業の参加を必須とする。また、人手不足の医療・福祉関係については、ハローワークで別に面接会を行う予定である。
8	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	①農業の持続的発展	担い手への農地集積率	国の法律(農業経営基盤強化促進法)に基づき、担い手への農地集積を図る。	増加指標	%	61	62.7	63.6	71	61.4	86.5%	74	62.5	84.5%	76	集積が進むにつれ、狭小・変型であるなど条件不利な農地が残り、集積は鈍化している。	令和3年度より、県補助事業「中山間地等条件不利農地集積支援事業」を活用し、条件不利農地を引き受けた担い手に、農地を改良するための支援を開始する。
9	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	①農業の持続的発展	6次産業化の新規事業取組者数(累計)	毎年1人の6次産業化新規事業取組者数の増加を目指す。	増加指標	人	2	2	3	3	4	133.3%	4	4	100.0%	5	目標値を達成しており、今後も6次産業化の取り組みへの支援を行う。	市の補助事業で引き続き、新しく実施する6次産業化の取り組みに対して支援を行うとともに、既存の6次産業化の取り組みに対しても支援を行う。
10	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	②農山村の振興	都市農村交流事業による交流人口	市で把握する交流イベント(里山交流センター、自然休養村等)の参加者数	維持指標	人/年	7,700	2,764	2,050	7,700	2,318	30.1%	7,700	1,705	22.1%	7,700	新型コロナウイルス感染症拡大対策としてイベント等の中止・縮小もあり、目標値を大きく下回った。今後は、これまでも同様に県内の感染状況や国の方針、県のイベント開催判断フローに基づき、個々の開催の可否を検討する。	県のイベント開催判断フローに基づき開催の可否を判断する。開催時には、イベント主催者に感染防止策の実施徹底を促し、感染発生時に感染の可能性がある者を把握する仕組み構築のアドバイスを行う。
11	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	③林業の振興	里山の再整備面積	里山再生整備事業により実施した竹林等の整備面積の合計。毎年15ヘクタールの整備を目指す。	維持指標	ha/年	15	10	20	15	24	160.0%	15	28	186.7%	15	目標値を達成しているが、里山の経済的価値の低下や、過疎化・高齢化の進行で活力が低下しているため、今後も事業を継続する。	今後も、地域ニーズ等を踏まえた事業のPRに努め、市民協働による森づくり活動への参加を支援する取り組みを引き続き推進する。
12	地域産業	2 水・緑・食が豊かで暮らしにうおいがある	④水産業の振興	アユ等の稚魚放流数	富山県の計画に基づく。	維持指標	kg/年	3,605	2,705	2,650	3,605	2,787	77.3%	3,605	2,308	64.0%	3,605	県から小矢部川漁業協同組合に指示される義務放流量の事業費に対して、支援している。目標値は達成していないが、平成30年度より、琵琶湖産アユより回帰率の高い富山県産アユを中心に放流している。今後も義務放流量の範囲内で継続して支援を行う。	県から小矢部川漁業協同組合に対して指示される義務放流量を踏まえ、支援を行う。
13	歴史・文化	3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている	①文化財の保存・活用	歴史・文化施設入込者数(瑞龍寺、勝興寺、土蔵造りのまち資料館、鎗物資料館、伏木気象資料館、古城公園、御車山会館)	全体として5年間で約3%の増加を目指す。	増加指標	人/年	1,175,372	1,124,660	1,149,436	1,201,000	1,109,437	92.4%	1,205,000	850,871	70.6%	1,210,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの施設で前年比50%未満となった。今後は、資料館の展示内容の刷新や施設間での相互広報の強化などに取り組み、入館者の回復に繋げる。	武田家住宅や伏木北前船資料館、伏木気象資料館の展示を見直し、勝興寺の宝物展、現代工芸展を開催する。
14	歴史・文化	3 世代を超えて受け継がれてきた歴史資産が大切に継承され、輝いている	②歴史的風致の保全・活用	建築物等の修景実績件数(累計)	景観形成重点地区内及び住民協定区内の修景実績件数。毎年3件の増加を目指す。	増加指標	件	3	4	7	9	10	111.1%	12	10	83.3%	15	修景整備について相談はあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、見送るケースが多かった。昨年度中に基準の見直しを行ったことなどから、引き続き修景整備の支援に取り組む。	パンフレットを作成し、PRを行う。
15	歴史・文化	4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている	①地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成	「TAKAOKA まちも、ものづくりも、ライバルはご先祖様。」文化創造都市HPアクセス数	紙ベースでのPRの実施	増加指標	件/年	H28年度開始	25,134	26,001	26,000	29,979	115.3%	28,000	25,000	89.3%	30,000	アクセス数は年々増加していたが、新型コロナウイルス感染症拡大によるイベント情報の減少、旅先としての検索数の減少の影響等で減少した。アクセス数が比較的多いインタビュー記事の充実および市SNSとの連携により、サイト訪問者の増加に取り組む。	HPを読みやすくするため、ページ構成の一部改修し、ニュース記事、インタビュー記事等を幅広い視点で作成・更新(北部エリアや伝統芸能の取材)する。また、市SNSでの広報により、HPアクセス数の増加を図る。
16	歴史・文化	4 暮らしの中に万葉と前田家ゆかりの文化が息づいている	①地域に根ざした創造的な芸術・文化活動の育成	高岡市万葉歴史館の入館者数	毎年約1,000人の増加を目指す。	増加指標	人/年	24,290	23,783	22,736	28,000	63,336	226.2%	29,000	12,385	42.7%	30,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和2年度は大幅に減少した。令和2～3年度にかけて進めている展示室改修による展示内容の充実、改修後のPRなどにより、入館者数の増加を図る。	令和3年9月下旬にリニューアルオープン予定の万葉学習エリアの内容を充実するとともに、展示室リニューアルに係るPRを実施する。また、万葉歴史館と市北部エリアを中心とする万葉ゆかりの地の周遊促進事業の検討、実施する。
17	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	①観光資源の発掘と保存・活用	◎高岡市の観光客入込数	各観光地及びイベントにおける入込数の合計値	増加指標	万人/年	380	377	385	450	371	82.4%	450	183	40.7%	450	新型コロナウイルス感染症拡大により、多くの祭り、イベントが中止となったこと、緊急事態宣言中に休館の措置をとった観光施設があったことが影響し、減少した。新しい旅のエチケット等、受け入れ側だけでなく、旅行者のマナーへの啓発を行い、感染対策を行いながら、宿泊割引など県民を中心とした消費を促す施策を展開した。	旅行エージェントに対し、勝興寺をはじめとする本市の魅力、素材提案を行い、団体旅行商品の造成を促進する。また、観光協会と連携し、体験や食事等をお得で手軽に楽しめる個人旅行客向けの商品を積極的にアピールする。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 (目標値)	R1年度 実績値	①R1年度 達成率	R2年度 (目標値)	R2年度 実績値	②R2年度 達成率	R3年度 (目標値)	分析と対応	R3の取り組み内容等
18	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	①観光資源の発掘と保存・活用	着地型旅行商品の参加者数	市内で着地型商品を取り扱う事業者への照会 毎年100人の増加を目指す	増加指標	人/年	2,067	9,092	7,481	3,700	3,434	92.8%	3,800	2,011	52.9%	3,900	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大都市圏からの団体旅行が激減したこともあり、参加者数が減少したが、個人旅行者に向けた商品造成や近隣エリアへのプロモーションを展開し、減少数を抑制した。	旅行エージェントに対し、勝興寺をはじめとする本市の魅力、素材提案を行い、団体旅行商品の造成を促進する。また、観光協会と連携し、体験や食事等をお得で手軽に楽しめる個人旅行者向けの商品を積極的にアピールする。
19	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	②広域観光の推進	旅行プログラムの販売人数	造成した旅行商品の購入者数(実売数) 毎年1,000人の維持を目指す。	維持指標	人/年	-	937	1,271	1,000	1,346	134.6%	1,000	1,147	114.7%	1,000	個人旅行者に向けた新たな商品造成や近隣エリアへのプロモーションを展開した。これらに県民を対象とした割引(半額)キャンペーンが適用され、販売が促進されたものと考ええる。	観光協会と連携し、体験や食事等をお得で手軽に楽しめる個人旅行者向けの商品を積極的にアピールする。
20	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	③イメージアップ・誘致活動の強化	観光ボランティアの利用者数	毎年1,000人の増加を目指す	増加指標	人	25,055 (H25-H27の 平均値)	24,528	29,861	28,000	23,023	82.2%	29,000	4,481	15.5%	30,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、緊急事態宣言中の移動自粛、大都市圏からの団体旅行が激減したこともあり、利用者数が減少した。	引き続き、高岡の魅力発信に努め、誘客及びガイド利用に繋げる。
21	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	③イメージアップ・誘致活動の強化	高岡関連PR記事等の掲載件数	雑誌、新聞、テレビ等で掲載された件数 毎年90件の掲載を目指す。	維持指標	件/年	85 (H25-H27の 平均値)	308	277	90	220	244.4%	90	157	174.4%	90	目標は達成したが、コロナ禍でイベントや催し物、講座などいろいろな活動が縮小傾向にあったことなどが影響し、前年度に比べ件数は減少した。	県外メディアへの定期的なプレスリリースの実施や、メディアへの積極的な情報提供や現地取材を受け入れる。また、ふるさと応援隊やPRアンバサダーの活動を促進する。
22	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	④国内・国外交流の推進	コンベンション誘致件数	各種団体や学会の全国大会・ブロック大会・スポーツ大会の合計値 3件の増加を目指す。	増加指標	件/年	17	20	27	20	16	80.0%	20	11	55.0%	20	企業、団体が大規模な会議開催を見送ったため、誘致数が減少した。一方、東京オリンピック・パラリンピックを見据えたバドミントンをはじめとしたスポーツ合宿の利用が促進された。	引き続き、受け入れる会場側での感染症対策徹底を呼び掛け、安全・安心な体制を確保したうえで、コロナ収束を見越した誘致活動を展開する。
23	交流・観光	5 高岡の魅力を積極的に発信し、たくさんの人が訪れるようになっている	⑤インバウンドの推進	◎外国人宿泊者数	市内宿泊施設の宿泊した外国人の合計値(国の算出方法に準拠)	増加指標	人/年	8,823	8,522	10,511	8,000	11,394	142.4%	9,000	2,414	26.8%	9,000	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、諸外国からの入国が制限されたことにより、インバウンドが激減した。一方、国等と連携し、いずれくるインバウンド回復のための新たな誘客コンテンツ造成を行った。	これまで築いてきた台湾を中心とする誘客のネットワークを途絶えさせないためにも、広域協議会等と連携し、引き続き、地域の魅力を動画やSNSで発信する。
24	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	①商業・サービス業の振興	中心商店街・観光地周辺における新規開業店舗数	中心商店街、観光地における開業支援件数(10件/年)※累計	増加指標	件	H28年度 開始	14	26	30	40	133.3%	40	57	142.5%	50	目標は10件であるが令和2年度は目標を超える17件の新規開業となった。その内13件に対し開業支援を行っている。このことから、当支援は中心商店街、観光地周辺のにぎわいに効果をもたらしているものと考えられる。引き続き、新規開業を後押しする取り組みを進める。	令和3年度は新たに賑わい集積開業等支援事業を導入し、観光地周辺や中心市街地、その他商店街形成区域への出店に対して補助する。また、コロナ禍である本年度に限り小売業、飲食サービス業の新規出店者への補助率、限度額を引き上げて新規開業を後押しする。
25	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	②中心市街地活性化の推進	中心市街地・観光地周辺における歩行者通行量(1日あたり)	高岡駅前(人工デッキ)、末広町(東)、末広町(西)、御旅屋通り、大仏前、山町筋観光駐車場前の6地点の平日、休日の平均値の合計(毎年10月調査)	増加指標	人/日	16,670	18,229	17,517	17,560	14,425	82.1%	17,560	10,149	57.8%	17,670	令和2年度は目標値を大きく下回る結果となった。これは新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外出を控える人が増加したことが大きな原因と考えられる。	市街地や観光地における人通りを増加させるため、リノベーション街づくり事業の進展や特徴のある店舗等に対する開業支援、セリオタウン構想に取り組み、魅力あるまちづくりを目指す。また、日常的な通行量も増やすため、まちなか住居やオフィスの誘導、マイクロツーリズムに注力する。
26	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	③市街地の整備	市街地整備区域内の居住人口	末広西地区 住宅戸数84×人数2	増加指標	人	-	0	196	168	196	116.7%	168	186	110.7%	168	令和元年度実績値より減少しているが、令和元年度は住戸契約ベースでの人数を算出しており、一方、令和2年度は住民票ベースでの人数を算出しているため、差異が生じている。セカンドハウスや投資目的での購入は含まない。	他地区ではあるが、マンション建設が行われており、引き続き中心市街地の居住人口対策に支援する。
27	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	④住宅・宅地の整備	◎まちなか居住推進総合対策事業に伴う定住人数	5年間で300人の増加を目指す。 (毎年60人ずつの増加)	維持指標	人/年	60 (H25-H27の 平均値)	67	86	60	50	83.3%	60	39	65.0%	60	まちなか区域では、昨年度とほぼ申請件数は変わらないものの、単身世帯の申請が増加したことにより、定住人数の増加が少なかった。利用が促進されるよう制度周知等に努める。	引き続き、支援事業の周知を行い、まちなか区域の居住促進を行う。
28	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	④住宅・宅地の整備	老朽危険空家除却支援件数	老朽危険空家家の解体を行う者への補助件数。 実績を積み上げながらH33には8件の補助を目指す。	増加指標	件/年	5	13	11	7	8	114.3%	7	5	71.4%	8	例年並みの除却件数には届かなかったものの、これまでの除却件数を累計すると目標値を達成している。また、除却等の対応が難しい案件への指導等を引き続き行い、除却が促進されるように努める。	空き家対策の業務を通して把握した老朽危険空家について、除却を促進し、まちの整備に繋げる。
29	交流・観光	6 生活の利便性が向上し、市街地に人が行き交いにぎわっている	⑤良好な都市景観の創出	違反屋外広告物等の是正件数	違反屋外広告物及び既存不適格広告物に対して指導等し、是正された件数の確認をする。	増加指標	件/年	4	10	11	10	15	150.0%	10	30	300.0%	10	これまで行ってきた違反広告物の是正指導により、事業者の理解を得て対応を頂いた。今後も引き続き是正指導に取り組む。	パトロールの実施と是正指導を徹底する。
30	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	①高岡駅・新高岡駅の周辺整備	公共交通乗車人数(JR西日本、あいの風とやま鉄道、万葉線、路線バス、コミュニティバス)	各交通事業者公表値より	維持指標	人/日	25,319	24,605	24,445	25,610	23,762	92.8%	25,540	18,308	71.7%	25,430	令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による公共交通機関の運休や県外との往来自粛等によって、乗車人数が減少している。今後、アフターコロナ期を見据え、乗車人数の回復及び利用促進に向けた施策展開を図る。	万葉線の利用促進に向けた施策(経営改善計画の策定)を展開するとともに、駅施設の利便性向上に向けた施設(福岡駅エレベーター整備)を整備する。また、新高岡駅利用型旅行商品の造成支援や2次交通を活用した旅行商品の造成支援を行う。
31	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	②高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備	◎公共交通人口カバー率	H27国調人口データを基に算出(総合交通戦略策定時データ参照) タクシー除く	増加指標	%	79.9	74.8	77.2	81.4	-	#VALUE!	81.8	-	#VALUE!	82.2	バス利用者の減少によってバス路線の統廃合が行われたことにより、人口カバー率が減少している。現在の市民の移動の中心は自家用車であり、バスに限らず公共交通利用者が減少している。公共交通を次世代に繋いでいくためには、鉄軌道やバス路線を維持するとともに、地域の特性に応じた市民協働型の地域交通システムの導入などによって持続可能な公共交通体系を構築していく必要がある。	地域が主体的に公共交通について検討するための市民協働型地域交通システム導入支援事業を創設する。地域ニーズの把握や運行形態の検討等を行う地域を支援する。
32	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	②高速道路網・幹線道路網・地域公共交通体系の整備	都市計画道路整備率	都市計画道路延長に対する改良済延長の割合	増加指標	%	77.1	77.7	77.8	79.1	78.4	99.1%	79.6	81.6	102.5%	80.1	目標値を概ね達成しており、今後も事業を継続する。	引き続き、国・県に対し事業の促進を働きかけていくとともに、市においても着実に事業を推進していく。
33	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	③港湾の整備・活用	船舶の寄港数(クルーズ客船・RORO船)	毎年10～13件の寄港を目指す。	増加指標	隻/年	7	7	5	11	2	18.2%	12	0	0.0%	13	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年度は予定されていたクルーズ船の寄港が全てキャンセルとなった。今後の受け入れ準備のため、県や関係機関との協議に参加する等、再開に向けた準備を進めている。	コロナ禍以降のクルーズ船の受け入れ態勢について、他港の事例収集や港湾関係者主催の勉強会等に参加する。また、引き続き県や関係機関と連携したポートセールスを実施し、安全で魅力的な寄港地としてのPRを進める。
34	交流・観光	7 交通ネットワークを活かし、県西部の中核的役割を果たしている	④広域連携の推進	◎「呉西圏域」都市圏ビジョン記載連携事業の実施数	H33度までに30事業の実施を目指す。	増加指標	事業	H28年度 開始	24	26	29	30	103.4%	30	30	100.0%	30	全33事業のうち、令和2年度中に実施されなかった3事業(No.15,32,33)を除く、30事業を実施した。連携事業の進捗管理や新規事業案の具体化、有識者からの意見聴取等を通じ、第2期都市圏ビジョンの策定を行った。令和2年度は新規事業の追加は行わなかったが、令和2年度中に2事業具体化し、令和3年度からの第2期ビジョンに追加した。	第1期都市圏ビジョン(H28～R2)の総括を行うとともに、コロナ禍の影響を受けた令和2年度実績をもとに第2期都市圏ビジョンの目標値について再検討する。
35	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	①教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実	認定こども園の設置数	5年間で10園を認定こども園に移行していく。	増加指標	園	4	9	11	10	16	160.0%	12	19	158.3%	14	目標値を達成しており、今後移行を推進する。	引き続き、認定こども園への移行を推進する。
36	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	①教育・保育の一体的提供の推進とサービスの充実	病児保育(病児対応型及び病後児対応型)事業実施施設数	保育園または病院で1か所増	増加指標	施設	3	3	3	4	5	125.0%	4	5	125.0%	4	目標値を達成しており、各施設において病児保育を実施する。	利用者ニーズを捉え、事業を継続する。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 (目標値)	R1年度 実績値	①R1年度 達成率	R2年度 (目標値)	R2年度 実績値	②R2年度 達成率	R3年度 (目標値)	分析と対応	R3の取り組み内容等
37	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	②新たな子育て情報提供システムの構築	スマートフォン用子育て情報提供アプリの登録者数	年間妊娠・出生件数約1,300件を参考として、H33までにその父母の6割の利用登録を目指す。	増加指標	人	H28年度開始	1,403	1,850	8,000	2,233	27.9%	8,500	782 (2,561)	#VALUE!	9,000	登録者数は年々増加傾向にあることから、サービスの内容については一定の支持を得ているものと考え。より使いやすく便利なアプリとなるよう、令和3年2月に多言語対応や予防接種のスケジュール管理などのアプリ機能拡充を行った。今後、周知方法の改善を図り、登録者の増加に繋げる。 旧アプリ「子育てタウン」(R3.3月末終了) R3.3月末登録者数 2,561人 新アプリ「母子モ」(R3.2月公開) R3.3月末登録者数 782人	アプリの機能拡充の周知チラシを児童福祉施設の利用者に配布し、登録者の増加を図る。
38	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	②新たな子育て情報提供システムの構築	子育てに関する相談対応件数	子育て支援センター等にて対応した相談件数。	維持指標	件/年	4,664	5,437	5,280	4,700	4,959	105.5%	4,700	3,842	81.7%	4,700	実績が減少した原因としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4・5月は子育て支援センター等を休館としていたこと、再開した6月以降も利用人数を制限していることが考えられる。毎月300件前後の相談があり、今後も対応できる体制づくりを行う。	引き続き、保護者の様々な相談に対応できるよう、相談者の資質向上を図る。
39	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	③安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実	◎子育てへの不安・負担度	毎年度、支援の実感度を評価するアンケートを実施 H25調査の41.7%を参考値として設定。	減少指標	%	41.7	38.6	50.7	30.0	43.3	55.7%	29.0	51.4	22.8%	28.0	第2期高岡市子ども・子育て支援事業計画の計画期間に入り、アンケート調査の手法を見直していることから、昨年度までとの単純な比較はできないが、子育て世代の不安・負担軽減のための取り組みを今後も進める。	子育て世代の経済的負担軽減のため、引き続き、幼児教育・保育の無償化や子ども医療費の助成など、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。 子育て中の保護者が、しごとと生活の調和が取れた働き方ができるよう、教育・保育や放課後児童クラブ等の充実に取り組む。
40	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	③安心して妊娠・出産・子育てができる体制の充実	生後3か月までの乳児のいる家庭訪問率	訪問件数/対象家庭数×100 新生児訪問やこんには赤ちゃん	維持指標	%	99.7	99.9	99.7	100	99.4	99.4%	100	99.8	99.8%	100	保護者と連絡がとれず訪問できなかった方はいるが、3か月児健診受診の際等に状況を確認し、支援の必要な方については対応した。	引き続き、対象者全員に訪問を実施し取りこぼしがないようにする。
41	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	④地域の子育て力の応援	◎子育て支援の実感度	毎年度、支援の実感度を評価するアンケートを実施。 H25調査の43.3%を参考値として設定。	増加指標	%	43.3	55.7	37.8	50.0	49.9	99.8%	51.0	43.2	84.7%	52.0	第2期高岡市子ども・子育て支援事業計画の計画期間に入り、アンケート調査の手法を見直していることから、昨年度までとの単純な比較はできないが、子育て世代が子育てが地域に支えられていると実感できるよう今後も取り組みを進める。	子育て中の保護者が、しごとと生活の調和が取れた働き方ができるよう、教育・保育や放課後児童クラブ等の充実に取り組む。
42	子育て・教育	8 安心と希望、ゆとりを持って子育てを楽しんでいる	④地域の子育て力の応援	平日の19時までの開所が可能な放課後児童クラブの数	クラブ運営規程にて、「19時までの開所」を規定しているクラブ数を基に設定。	増加指標	クラブ	2	2	2	8	3	37.5%	9	2	22.2%	10	放課後児童支援員及び補助員が不足しており、長時間開設できる受入態勢が整っていないため、支援員等の確保に努める。	支援員等の確保に努め、長時間開設可能な受入態勢を整える。
43	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	教員研修評価アンケートにおける満足率	研修会後の教員アンケート	増加指標	%	H28年度開始	97	98.2	75	97	128.7%	80	96	120.0%	80	当初予定していた研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 感染状況をみながら、教員のニーズに応じた研修会を新規に企画、実施し、特にGIGAスクール構想の実施に伴ったICT研修を多く行った。	外部講師を招聘した、学力向上や道徳教育に関する研修は、状況に合わせ、オンラインで実施することも予定している。 一人一台学習専用端末の活用について、具体的な実技研修を実施する。
44	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	児童・生徒1人あたりの学校図書貸出冊数	月平均の児童・生徒の学校図書貸出冊数	増加指標	冊/月	H28年度開始	3.9	3.9	3.9	3.6	92.3%	4.0	4.1	102.5%	4.0	各学校、図書担当教諭、学校司書を中心とし、各校の特色を活かし、児童生徒の読書活動の充実に取り組んだ。長期の臨時休業があったが、夏季休業の短縮等で授業時数を確保したことにより、貸出数の目標値を達成することができた。	コロナ禍における学校図書館利用について、学校司書間で情報を共有しながら、図書館教育の充実を図る。 学校司書研修等を充実させ、効果的な取り組み等を紹介し、情報を共有する機会を設定し、学校司書の資質向上に取り組む。
45	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	①確かな学力・豊かな心・健やかな体をはぐくむ教育の推進	学校給食に使用する地場産食材の品目	食育と地産地消を推進するため、地場産食材(青果物)品目数を26品目以上に設定	増加指標	品目	24	24	23	26	24	92.3%	26	23	88.5%	26	臨時休業の影響で給食実施時期が例年と異なっていた。 出荷時期と学校給食での使用時期が合致しなかった品目、また、天候の影響・生育状況により確保できなかった品目があった。 昨年度使用できなかった品目を復活させたり、また、一部の学校で新規使用品目を開拓した。	農業水産課担当者やJA高岡と連絡を密に行い、学校給食での使用時期の情報と共有する。 生産量が少ない品目について、引き続き、一部の学校での使用を検討するなど可能な限り地場産食材を使用する。
46	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	②地域に開かれた特色ある教育活動の充実	英検3級以上を取得している中学3年生の割合 (英検3級以上相当の英語力を有すると思われる生徒を含む)	英語教育実施状況調査による 5年で約100人の増加を目指す。 (約1,500人×6%) + α	増加指標	%	48	53	56.6	52	55	106.3%	52	54	103.8%	54	イングリッシュセミナーは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止し、ALTの人数も、新型コロナウイルス感染症拡大による渡航規制のため、来日できず不足している。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実習を2学期以降に遅らせた。 小学校6年生、中学校1年生で青貝塗りのルーブタイや彫刻塗りのオルゴール、錫のフォトフレームや小物等の制作に取り組み、5年生は、大学、工芸センター、美術館、伝統工芸師等の地域人材を招聘し、デザイン学習に取り組んだ。	「イングリッシュセミナー2021」を実施し、小、中学生が英語に触れる機会を設ける。 ALTは、現在6名であり、11名まで増員する予定である。小学校では英語専科教員の充実を図るとともに、乗り入れ授業を実施することで、早い時期から英語への興味関心を高める。
47	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	②地域に開かれた特色ある教育活動の充実	◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(児童・生徒)	ものづくり・デザイン科学習後のアンケート 高水準である90%を維持	維持指標	児童・生徒%	90	92.0	92.2	90	90.9	101.0%	90	90.0	100.0%	90	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実習を2学期以降に遅らせた。 小学校6年生、中学校1年生で青貝塗りのルーブタイや彫刻塗りのオルゴール、錫のフォトフレームや小物等の制作に取り組み、5年生は、大学、工芸センター、美術館、伝統工芸師等の地域人材を招聘し、デザイン学習に取り組んだ。	令和3年度は、基本的な感染対策を講じながら、感染リスクを軽減させ、ものづくり実習と見学やふるさと地域学習を進める。 高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てる。
48	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	②地域に開かれた特色ある教育活動の充実	◎郷土に誇りをもつ心を育むことができた児童生徒・教員の割合(教員)	ものづくり・デザイン科学習後のアンケート 高水準である90%を維持	維持指標	教員%	90	96.0	92.4	90	92.7	103.0%	90	89.0	98.9%	90	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、6月から学校が再開となったことを受け、これまで以上に、学習の遅れを取り戻すため、授業確保が難しい現状であった。しかし、実習の工程内容を見直したところ、児童生徒が郷土に誇り愛着をもって活動できるよう、指導の工夫を重ねることができた。その結果、教員自身が学習の価値を改めて感じることもできた。	令和2年度からブラッシュアップした「ものづくり・デザイン科」授業の全体構想について周知する。市教委から配布した参考事例を元にした授業を各学校が実施したり、デザイン授業の実践を各学校間で情報交換できる場を設定したりするなどして、各学校の実態に合わせたデザイン授業を展開する。
49	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	③教育効果を高める教育環境の充実	余裕教室の活用数	小学校の余裕教室で開設している放課後児童クラブ室の数 H33までに12室の増加を目指す。(41室で利用想定児童数を網羅予定)	増加指標	室	12	16	21	23	21	91.3%	26	21	80.8%	26	令和2年度は開設希望がなかった。	新たに放課後児童育成クラブの開設の希望がある場合、学校運営上、支障がない範囲で可能な限り教室での開設を承認する。
50	子育て・教育	9 教育を通じて個性を磨き、生きる力を高め合っている	④高等学校・高等教育機関の充実・連携	大学と連携した事業への参加者数	高岡市と大学との協定等に基づいて実施する事業を抽出 100人の増加を目指す。	増加指標	人/年	260	448	350	360	396	110.0%	360	332	92.2%	360	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの事業が中止になったが、オンライン開催に変更するなどの工夫を行い目標の9割を達成した。今後も連携事業を継続・新規企画する。	事業のPRを引き続き行い、参加者数を確保していく。 ※対象者は、聴講学生(公開のものは参加社会人も) 令和3年度以降も目標値が達成できるよう、各大学と連携して事業に取り組む。
51	子育て・教育	10 いくつになっても興味のあることを気軽に学べている	①ライフステージに応じた生涯学習の振興	生涯学習センターの利用者数	年間のホール、諸室、コーナー利用者数	増加指標	人/年	254,131	238,017	268,144	258,000	256,290	99.3%	259,000	110,534	42.7%	260,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自主講座や各種イベントが中止となった。夏以降は新型コロナ対策を徹底することで、少しずつ利用者数が増加した。	令和3年度も新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して、各種イベントを開催するとともに、広報を活用して募集を行う。
52	子育て・教育	10 いくつになっても興味のあることを気軽に学べている	②未来を担う世代の育成と若者が主体となるまちづくりの推進	土曜学習の実施学校数	実績の積み上げを見ながら、5年間で5校区数の増加を目指す。	増加指標	校	8	14	15	16	16	100.0%	17	12	70.6%	18	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、5校区で事業が中止となった。今後は感染防止対策を講じながら事業を継続する。	引き続き、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して事業を継続する。
53	子育て・教育	11 いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる	①生涯スポーツ活動の充実	体育施設の利用者数	スポーツ施設の利用促進のPRや市民ニーズに応じた施設整備、改修等により5年間で5%の増加を目指す。	増加指標	人/年	836,440	790,929	791,777	850,000	742,115	87.3%	870,500	467,412	53.7%	878,850	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントが中止となったこともあり、利用者数が減少した。	令和3年度も新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して、利用者の促進を図る。
54	子育て・教育	11 いつでも気軽にスポーツを楽しんでいる	②スポーツ施設の充実と効率的な活用	学校体育施設開放の利用者数	5年間で5%の増加を目指す。	増加指標	人/年	341,340	322,600	322,771	355,350	291,932	82.2%	358,800	208,406	58.1%	362,250	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベントが中止となったこともあり、利用者数が減少した。	令和3年度も新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して、利用者の促進を図る。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 (目標値)	R1年度 実績値	①R1年度 達成率	R2年度 (目標値)	R2年度 実績値	②R2年度 達成率	R3年度 (目標値)	分析と対応	R3の取り組み内容等
55	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	①地域福祉の推進	福祉ボランティア登録人数	高岡市ボランティアセンター登録人数。 毎年、12,000人維持を目指す。	維持指標	人/年	11,396	10,796	11,923	12,000	10,606	88.4%	12,000	9,892	82.4%	12,000	目標値には達成していない。この状況の要因としては、会員の高齢化により活動継続できない団体が出ていることや、定年延長等雇用年齢の拡大に伴い、ボランティア活動を始める年齢が高くなっていること等が考えられる。	引き続き、ボランティア養成講座(アクティブシニア・ボランティア大学)を実施し、身近で活動している団体での体験等を通してボランティア活動への機会提供とその魅力を伝える事業を実施する。
56	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	②障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実	障がい者相談支援センター相談件数	気軽に相談できる体制づくりを目指し、毎年11,000件の維持を目指す。	維持指標	件/年	10,855	13,579	15,345	11,000	15,088	137.2%	11,000	13,846	125.9%	11,000	目標値を達成しており、今後も継続して事業を実施する。	引き続き、相談支援事業所での相談事業を実施する。
57	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	②障がい者(児)福祉・自立支援対策の充実	年間新規就労者数	民間作業所・障がい者雇用支援事業団・特別支援学校から就労した人数。 毎年50人を目指す。	増加指標	人/年	34	26	32	50	22	44.0%	50	集計中	#VALUE!	50	令和2年度実績値は県からの数字提供待ちのため、R3.6.30現在不明。 令和元年度まで目標未達成であるため、引き続き、ハローワークや事業所と連携を取りながら障害者雇用の促進を行う。	令和3年度は地域共生社会推進協議会の専門部会である就労支援部会を年4回開催し、ハローワーク等の関係機関との情報共有を行う。また、高岡高等支援学校開催の企業向け見学会に市と事業所で参加し、雇用促進に向けた取り組みを行う。
58	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	認知症サポーター養成数	養成講座の受講者数をH29～H31は年間1,500人、H32、H33は年1,000人目指す。	増加指標	人	12,039	15,906	17,344	18,000	19,015	105.6%	19,000	19,788	104.1%	20,000	認知症に対する理解者が更に増やす取り組みとして、日頃高齢者と接する機会が多い、スーパーやコンビニ、ドラッグストア等の商店企業等を対象とした講座開催を平成30年度から実施会場を市役所に設け(年2回)開催した。令和元年度も引き続き、理容院、美容院、医療機関等を対象に実施(年2回)した。しかしながら、令和2年度においては、タクシー事業所を対象とした講座開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市役所で一同に開催する講座は中止となった。 一方、これまでも取り組んできた小学校等教育施設等へも継続的に受講を呼びかけて開催する等、あらゆる分野の機関・団体等に積極的に受講の働きかけを行い、目標値を達成しており、今後も事業を継続する。	認知症高齢者数の増加を見据え、地域全体が認知症を正しく理解し支えていく、地域共生の観点から、様々な民間企業等に対し講座の受講を働きかける。令和3年度はタクシー事業者対象に認知症に関するアンケートを実施し、当該事業所の困りごとを事前に把握し、講座開催する際に必要な情報を提供できるよう準備する。また、職場環境により受講が難しい場合には、認知症の啓発用チラシ等を作成・配布するなどの対応を検討する。
59	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	認知症高齢者等SOSダイヤルシステム登録者数(旧:徘徊SOSダイヤルシステム)	毎年20人の登録者を目指す。	増加指標	人	117	146	167	200	159	79.5%	220	165	75.0%	250	認知症疾患医療センターや認知症初期集中支援チーム、地域包括支援センター等関係機関が連携して、認知症高齢者およびその家族等に対し、早期からの相談・支援を行い、相談内容等に応じてサービスについて情報提供を行い、登録を進めている。 登録の必要者に対し、個別の情報提供や広く市民への啓発を実施している。 事業説明用のちらし等の媒体を作成し、相談時の情報提供や啓発時に使用する。	認知症高齢者やその家族等の相談・支援での個別の情報提供および認知症サポーター養成講座等で、事業について広く啓発を図るとともに、認知症サポーター養成講座の中でも事業についての啓発する。
60	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	介護予防日常生活総合事業における住民主体の通いの場の立ち上げ数	H33までに50カ所の通いの場立ち上げを目指す。	増加指標	カ所	20	47	90	40	100	250.0%	50	93	186.0%	50	令和2年度は新規立ち上げが8カ所あり、通いの場の数は年々増えてきたが、新型コロナウイルス感染症の感染対策が取れない小さな会場等で休止された会場もありやや減少した。	新規の立ち上げの際には、専門職を派遣する。また、リハビリ専門職の派遣や看護師の健康相談を行うなど、通いの場に参加している高齢者の個別対応も行う。
61	安全・安心	12 誰もが生き生きと自立して暮らしている	③高齢者福祉の充実	介護予防日常生活総合事業における住民主体の通いの場の一般介護予防事業の参加者数	H33までに50カ所の通いの場立ち上げを目指す。	増加指標	人	62,500	63,179	72,571	68,000	71,413	105.0%	69,000	27,696	40.1%	70,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年どおりの講習会の開催が困難であったため、参加者数が前年度と比較し、下がる結果となった。	新型コロナウイルス感染症の感染対策を行い、再開する通いの場もみられる。
62	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	①生涯を通じた健康づくりの推進	健康寿命	市民の平均寿命から介護を要する平均期間(要介護2以上)を差し引いた期間。	増加指標	男:歳	78.03 (H26)	78.97	79.25	78.60	79.39	101.0%	78.80	集計中	#VALUE!	79.00	健康寿命は年々延伸している。 健康づくり延伸に向け、令和2年度は「身体活動・運動」の推進を重点テーマとし、働く男性の運動教室(済生会高岡病院委託事業)の新規開催を行った。	令和3年度は引き続き「身体活動・運動」の推進を重点テーマとし、普及啓発(G・Gイベント、CATV放映、広報)や働く男性の運動教室(済生会高岡病院委託事業)等を実施する。また、ヘルスボランティア協議会等の健康づくりボランティアと協働し、全地域においてウォーキングや健康づくりの普及に取り組む。
63	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	①生涯を通じた健康づくりの推進	健康寿命	市民の平均寿命から介護を要する平均期間(要介護2以上)を差し引いた期間。	増加指標	女:歳	83.55 (H26)	83.44	84.09	83.82	84.89	101.3%	83.91	集計中	#VALUE!	84.00	健康寿命は年々延伸している。 健康づくり延伸に向け、令和2年度は「身体活動・運動」の推進を重点テーマとし、働く男性の運動教室(済生会高岡病院委託事業)の新規開催を行った。	令和3年度は引き続き「身体活動・運動」の推進を重点テーマとし、普及啓発(G・Gイベント、CATV放映、広報)や働く男性の運動教室(済生会高岡病院委託事業)等を実施する。また、ヘルスボランティア協議会等の健康づくりボランティアと協働し、全地域においてウォーキングや健康づくりの普及に取り組む。
64	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	①生涯を通じた健康づくりの推進	国民健康保険特定健康診査受診者における高血糖有所見者の割合	国保データベース(KDB)システムのデータを活用した、特定健康診査受診者に対するHbA1c(ヘモグロビンエワンシー)5.6%以上の割合。	減少指標	%	77.6	77.3	74.4	72.2	78.4	91.4%	71.9	77.9	91.7%	71.6	令和2年度は令和元年よりも低い割合となったが、目標値を達成しておらず、平成29年度及び30年度よりも増加傾向にあることに変わりはない。ただし、これは特定健康診査の受診率が上昇傾向にあり、これまで不明であった有所見者が顕在化したことによるものである。 今後も生活習慣病の早期発見のため、特定健康診査の受診率向上を図りつつ、有所見者に対する個別の保健指導に力を入れ、生活習慣病の早期改善、重症化予防に取り組む。	本市は高血糖有所見者の割合が高く、同時にメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合も増加していることから、対象者の行動変容を促す、より効果的で効率的な保健指導に取り組む必要がある。 新たな取り組みとして、保健指導教材を備えたタブレット端末を活用し、対象者に視覚的に訴えかける保健指導や新型コロナウイルス感染症拡大の影響下で、訪問指導を受けることに消極的な人がおられることも踏まえ、情報通信技術を利用した遠隔での保健指導を行う。
65	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	②医療体制・医療制度の充実	市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(紹介率)	紹介率:A÷(B-C)×100 逆紹介率: D÷(B-C)×100 A:紹介患者の数、B:初診患者の数、C:休日夜間救急患者の数、D:逆紹介患者の数	増加指標	紹介率(%)	31	41.5	63.5	46	68.5	148.9%	50	70.6	141.2%	50	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 コロナ禍にあってもPR冊子の作成配布等、可能な取り組みを行った。	引き続き、人口増の地区や本院入院患者が多い地区へ院長をはじめ幹部が重点的に開業医訪問し、本院の強みをPRしていく。病院のPR冊子の作成・配布、医療連携懇話会を通じて地域医療機関との関係の強化・継続を図る。
66	安全・安心	13 健康的な生活を送り、必要な時に適切な医療を受けられる	②医療体制・医療制度の充実	市民病院と地域医療機関等との患者の紹介率・逆紹介率(逆紹介率)	H33の目標値は、地域医療支援病院である厚生連高岡病院のH26実績並みの数値	増加指標	逆紹介率(%)	43	56.8	92.3	66	97.4	147.6%	70	90.4	129.1%	70	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。 引き続き実績等を示しながら医師の逆紹介意識の向上を図る。	地域医療機関への迅速な返書を送付する。 逆紹介数を増加させるため、医局会等で本院医師に対し逆紹介を促す。 地域医療機関との「顔の見える連携」を推進する。
67	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	①環境保全意識の高揚	住宅用太陽光発電の能力合計	H33には標準世帯の能力(4kw)の約2,000世帯相当を目指す。	増加指標	kw	5,138	6,191.1	6,653.1	7,000	7,099	101.4%	7,500	7,293	97.2%	8,000	令和2年度から補助制度を見直し、太陽光発電システムのみを対象とした補助を終了したことにより、その分の実績が把握できなくなり累計kW数が鈍化した。 そのため目標値は達成できなかったものの、達成率は97%と高い水準であり、引き続き啓発等を行い、自家消費を促進する。	事業は継続し、引き続き啓発等を行い、自家消費を促進する。
68	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	①環境保全意識の高揚	こどもエコクラブ数	幼稚園・保育園、認定こども園の全体の60%加入を目指す。	増加指標	園/年	21	28	32	29	32	110.3%	31	33	106.5%	33	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。	既に目標値を達成しているが、目標を維持できるようさらにクラブ数の参加を促す。
69	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	②環境保全対策の充実	美化協定団体数	毎年1団体ずつの増加を目指す。	増加指標	団体	47	53	52	53	49	92.5%	54	46	85.2%	55	各協定団体の高齢化等による参加人数の減少により、事業継続が困難であるとの理由で、令和2年度は3団体の減少となった。 引き続き、市広報誌等を使った新規加盟募集の呼びかけを行う。	積極的に活動している協定団体の活動状況等を市ホームページ等にて掲載し、より効果的な広報活動を行う。
70	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	②環境保全対策の充実	美化重点地区の美化活動参加者数	近年参加者数が減少傾向にある中、17,000人の維持を目指す	維持指標	人/年	16,912	16,800	15,545	17,000	14,965	88.0%	17,000	5,491	32.3%	17,000	近年の人口減少やボランティア参加者の高齢化等に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大による活動自粛が重なり、大幅な活動参加者数の減少となった。 引き続き、出前講座や市広報誌等により、清掃美化活動の啓蒙・啓発及び参加呼びかけを行う。	地域の高齢化や人口減少、併せて感染対策のため新たな生活様式に対応した清掃活動が求められることから、大規模な清掃活動から地元・地域主導の小規模単位での清掃活動に移行する。今後、地元・地域主導の小規模な清掃活動への移行を促しながら、地域の活動を支援する。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 (目標値)	R1年度 実績値	①R1年度 達成率	R2年度 (目標値)	R2年度 実績値	②R2年度 達成率	R3年度 (目標値)	分析と対応	R3の取り組み内容等
71	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	③ごみの減量化・資源化の推進	ごみの再生利用率	ごみの分別の徹底し、リサイクル率の維持に努める。	維持指標	%	21.0	21.2	21.3	21.0	21.1	100.5%	21.0	20.6	98.1%	21.0	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地域の集団回収実績が約2割落ち込み、資源化率が減少となった。	国のプラスチック一括回収の方針に合わせ分別及び処分の見直しを検討する。その上で、小学校への出前講座開催による幼少期からの環境教育や、その他ごみ資源化の啓発を行う。
72	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	③ごみの減量化・資源化の推進	ごみの排出量	ごみの発生抑制を推進し、ごみの減少を目指す。	減少指標	t	62,082	61,489	61,015	60,830	60,162	101.1%	60,480	59,118	102.3%	60,130	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。	小学校への出前講座による幼少期からの環境教育や、その他ごみ減量化の啓発活動を行う。また、市民団体のフードドライブ実施に合わせ、フードロス削減やエシカル消費の啓発を行う。
73	安全・安心	14 地域の人々の手で環境が守られている	③ごみの減量化・資源化の推進	埋立ごみ搬入量	ごみの分別を徹底し、埋め立てごみの減少と焼却量の減少に努める。	減少指標	t	7,656	6,294	6,212	7,525	6,246	117.0%	7,490	6,425	114.2%	7,455	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。	埋立ごみの減少と焼却量の削減を目指して、ごみの分別の周知・継続を徹底する。
74	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	①防災対策の充実	校下(地区)連絡協議会設置数	年間3校下を目標にH33年度までに36校下での実施を目指す。	増加指標	地区	18	25	30	30	31	103.3%	33	32	97.0%	36	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各自主防災組織等の活動も少なく、地域への説明する機会を多く設けられなかった。	校下連絡協議会未設置の古府、太田、西五位、五位山地区に対し連絡協議会設立に向け、呼びかけを行う。
75	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	①防災対策の充実	わがまち訓練の実施地区数(累計)	H33年度までに36校下で風水害をイメージした防災訓練を実施する。	増加指標	地区	6	10	20	25	24	96.0%	31	24	77.4%	36	令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、総合防災訓練が開催できなかった。	令和2年度に実施を予定していた志貴野中学校区(成美、能町、二上、守山)を対象に、新型コロナウイルス感染症下における避難所運営訓練を実施する予定であったが、令和3年度も感染拡大の影響により中止した。
76	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	①防災対策の充実	デジタル化に対応した防災行政無線子局設置数	5年間で37子局の設置を目指す。	増加指標	局	87	99	105	123	118	95.9%	131	118	90.1%	142	子局設置地区の変更もあり、突発的な災害である津波と土砂災害の恐れのある地区内にこれまで計118局の子局を設置した。	これまで整備してきた子局とあわせ、携帯電話(緊急通報メール、市防災情報メール)やテレビでのL字放送、民間防災アプリ等を有効に活用し、災害時等における情報伝達を図る。
77	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	②消防・救急・救助体制の充実	救命講習会修了者数	毎年1,350人維持を目指す。	維持指標	人/年	1,326	1,586	3,218	1,350	3,294	244.0%	1,350	1,138	84.3%	1,350	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4月1日～5月31日まで開催中止の期間を設けるなど、開催数が減少したこと、また、感染防止対策のため、開催時の人数制限を行ったことにより、受講者数が減少し目標達成に至らなかった。	現段階で開催中止の予定はなく、感染予防対策を万全とし全て開催予定としている。(本部公募11回、各消防署随時開催)。
78	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	②消防・救急・救助体制の充実	防火防災講習会参加者数	予防事務結果集計等を利用毎年150人の増加を目指す。	増加指標	人/年	1,784 (H25-H27 平均値)	3,563	2,630	2,100	2,619	124.7%	2,250	764	34.0%	2,400	新型コロナウイルス感染症拡大の拡大により、例年どおりの講習会の開催が困難であった。	前年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症に対する感染防止対策を徹底しつつ、講習会を開催する。
79	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	③道路整備、交通安全・防犯対策の充実	交通安全教室の実施回数	小学校下相当数の回数を目指す。	増加指標	回/年	21	23	22	24	22	91.7%	25	9	36.0%	26	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受講控えやキャンセルがあり、目標を達成しなかった。	感染対策を行い、引き続き教室を開催する。
80	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	④緑化の推進と保全	花いっぱい連盟会員数(個人)	毎年5人の新たな会員を目指す。	増加指標	人	772人	686	652	800	688	86.0%	805	613	76.1%	810	昨年度から75名減少している。令和2年度は総会がなかったことが響いている。花苗配布時や総会等の集会時に、自治会への会員募集案内を引き続き行う。	イベント時等に積極的に会員募集を案内する。
81	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	④緑化の推進と保全	花いっぱい連盟会員数(団体)	毎年5団体の新たな会員を目指す。	増加指標	団体	177団体	152	174	200	169	84.5%	205	153	74.6%	210	昨年度から16団体減少している。令和2年度は総会がなかったことが響いている。花苗配布時や総会等の集会時に、自治会への会員募集案内を引き続き行う。	イベント時等に積極的に会員募集を案内する。
82	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	④緑化の推進と保全	市街地の緑地率	都市公園及びその他緑地(施設緑地、地域性緑地)の面積÷市街化区域面積及び用途地域面積。	増加指標	%	19.1	18.8	18.8	19.3	18.8	97.4%	19.3	18.8	97.4%	19.4	緑地整備面積が0.19ha増加したが、微増であったため、昨年度の数値に留まった。引き続き、地域や民間による緑化推進に取り組む。 750.27ha÷3.985ha＝18.8%	人口減少下において、公園の適正配置などの課題がある中で、地域や民間による緑化推進に取り組む。
83	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑤河川・海岸の保全・整備	河川整備率	河川改修率	増加指標	%	86.1	86.3	86.9	87.7	87.7	100.0%	88.0	87.9	99.9%	88.2	目標値は概ね達成できた。今後も国庫補助金を活用し河川整備を進める。 ・令和2施工実績 L=74m	守山川、内古川及び大井川等において改修工事の実施を予定している。
84	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑥雪対策の充実	民間消雪施設の更新・拡充	耐用年数を超過した43箇所 の更新と新規箇所(年1件)の整備を支援する。	増加指標	箇所/年	4	1	6	6	9	150.0%	5	7	140.0%	5	目標値は達成できた。引き続き、支援を継続するとともに今後の課題を踏まえた支援・見直しを検討する。	引き続き、支援を継続するとともに今後の課題を踏まえた支援・見直しを検討する。
85	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑦上・下水道の整備	上水道管路の耐震化率	上水道管路全体に対する耐震管路の占める割合。	増加指標	%	21.3	22.7	23.4	23.9	24.1	100.8%	24.5	24.8	101.2%	25.1	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。	全体(延長 8.7km・金額 867,845千円) R3【内訳】 ・老朽管布設替整備(4.4km:483,176千円) ・配水管路整備(4.0km:349,694千円) ・未普及地域整備(0.3km:34,975千円)
86	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑦上・下水道の整備	下水道普及率	行政区域内人口に対する処理区域内人口の占める割合。	増加指標	%	93.3	93.9	94.1	94.3	94.4	100.1%	94.5	94.7	100.2%	94.7	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。	令和3事業【内訳】 未普及地域解消(6.0km、700,000千円)
87	安全・安心	15 安全で快適な生活を送っている	⑧消費生活の向上	消費生活に関する相談件数	本市への電話、訪問、出張相談の合計件数。 毎年500件の維持を目指す。	維持指標	件/年	530	633	672	530	589	111.1%	530	650	122.6%	530	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外出を自粛し、情報通信関連の端末での買い物利用が増加したと考えられ、インターネット通販によるトラブルなどの相談が増加した。通信販売にはクーリングオフ制度が適用されないことなど、注意喚起が必要である。	引き続き、相談業務を行うとともに、令和4年4月からの成年年齢引き下げに伴い、若年者のトラブル増加が予想されることから、関係機関と協力し出前講座を行うなど、市消費生活センターの認知度向上に努める。
88	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	①市民が主役の地域づくりへの支援	市民活動情報ポータルサイト登録団体の数	毎年4件ずつの増加を目指す。	増加指標	団体	156	155	153	172	148	86.0%	176	153	86.9%	180	団体からの申し出により整理を行った。また、SNS等の普及により、登録団体数の伸びが落ち込んでいる現状である。今後の増加に向けて、登録検討中の団体、未登録団体への依頼、新たに組織化された団体の掘り起こし等を進める。	共創支援事業に関係する未登録団体に対して登録を促す。また、団体の活動状況をSNSで発信するとともに、団体が作成したPR動画をYouTubeで配信する。
89	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	①市民が主役の地域づくりへの支援	地域コミュニティセンターの利用者数(各地区の合計)	ホール、会議室、図書館等の利用者数 年間180,000人の利用を目指す。	維持指標	人/年	170,591 (H25-H27の 平均値)	226,491	242,447	180,000	211,512	117.5%	180,000	129,662	72.0%	180,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年に比べて減少した。今後はコロナ対策を徹底し、コスト面も考慮し事業を継続する。	市内3カ所のコミュニティセンターにおいて、利用者に身近な地元関係者が指定管理者となり、施設管理者と担当課のミーティングを行いサービスの水準を均一化する。利用者に身近な地元関係者が務める指定管理者が、担当課とミーティングを行い、サービスを高い水準にあわせるよう均一化を図る。施設条例の範囲内において可能な限り柔軟に対応することとし、市民に対し親切・丁寧・きめ細やかな運営を行う。
90	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	②多文化共生社会の推進	通訳・ホームステイ等のボランティアの登録者数	本市で登録しているボランティアの数 毎年10人ずつの増加を目指す。	増加指標	人	135	150	168	160	176	110.0%	170	96	56.5%	180	令和2年度は、これまで登録したボランティアの方を対象に登録更新の意思確認を行ったところ、高齢化等の理由により登録を解除された方がいたため実績値が減少した。ボランティア制度の周知を図るとともに、ボランティア活動の継続につながる取り組みが必要である。	引き続き、高岡市多文化共生プランに基づく施策に取り組み、毎年10人ずつの増加を目指す。また、ボランティアの方を対象にスキルアップ研修を実施し、ボランティア活動の継続につながるモチベーションの向上を図る。
91	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	②多文化共生社会の推進	外国人のための生活相談コーナー(市役所1階)の利用者数	在住外国人の生活上の課題を気軽に相談できる体制づくりを目指し、毎年2,700人維持を目指す。	維持指標	人/年	2,699	2,419	2,366	2,700	2,631	97.4%	2,700	3,397	125.8%	2,700	令和2年度は新型コロナウイルス感染症に関する相談件数が増加したことにより目標値を大幅に上回った。今後も、相談窓口の周知を図る。	市役所窓口、市HP、フェイスブックでの周知、その他、国際交流センターや外国籍市民が集まる交流事業等で広報を行う。
92	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	③男女平等・共同参画社会の実現	男女平等・共同参画に関する講座等の開催回数	毎年40回の開催を目指す。	増加指標	回/年	34	43	40	40	38	95.0%	40	20	50.0%	40	新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、予定する講座が開催できなかった。令和3年度以降も引き続き事業を継続し、感染症対策をとりながら実施する。	市民ニーズ、時勢に応じた内容の講座を開催する。リモートによる講座やSNSを活用した周知など、コロナ禍にも対応した講座の開催方法を図り、開催回数の増加に向けて取り組む。

No.	分野	めざすまちの姿(総合計画) /基本目標(総合戦略)	施策	指標	算出方法及び補足説明	指標区分	単位	基準値	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R1年度 (目標値)	R1年度 実績値	①R1年度 達成率	R2年度 (目標値)	R2年度 実績値	②R2年度 達成率	R3年度 (目標値)	分析と対応	R3の取り組み内容等
93	安全・安心	16 その人らしさが尊重され、お互いに助け合いながら幸せに暮らしている	④平和な地域社会の形成	人権セミナーの参加者数	毎年10人ずつの増加を目指す。	増加指標	人/年	352	368	346	380	315	82.9%	390	398	102.1%	400	近年の児童数の減少により、参加者数も減少していたが、関係機関の協力を得て、令和2年度から人権教室の開催校数を3校から6校に拡大した。	人権教室は6校開催を維持しながら、いじめ等の身近な問題を題材にするなど、内容の充実を図る。また、講演会では、市民の方に興味を持ってもらえるよう、時勢に合った講師を選定する。
94	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持つて取り組んでいる	①市民に開かれた市政の推進	まちづくりの出前講座の年間参加者数	毎年4,000人の参加者数を維持する。	維持指標	人/年	3,904 (H23-H27の 平均値)	4,682	5,947	4,000	5,540	138.5%	4,000	1,220	30.5%	4,000	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受講控えやキャンセルがあったこと、また、1回あたりの人数制限を行ったことにより、目標に達しなかった。	集団感染症対策を徹底し、安心して出前講座を受けられる環境を整える。
95	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持つて取り組んでいる	②高度情報化の推進	オープンデータの掲載データ数	機械判読に適した形式のデータ数(第3段階以上:CSVなど) 毎年5件ずつの掲載を目指す。	増加指標	件	13	13	18	30	34	113.3%	35	35	100.0%	40	前年度との比較でも微増に留まり、目標値と同数だった。 引き続き機械判読可能なデータの増加を目指す。	データの利活用を想定し、PDFによるデータの提供からソフトウェアを問わないcsv形式へ変換可能なものは対応をもらうよう引き続き各課へ周知する。
96	安全・安心	17 市役所が市民に信頼され、責任を持つて取り組んでいる	③簡素で効率的な行財政の推進	職員への信頼度	市民意識調査(窓口アンケート)の結果を利用。	増加指標	%	88 (H28アンケート調査結果)	94	88	89	94	105.6%	89	95	106.7%	90	目標値を達成しており、今後も事業を継続する。	組織目標の共有・実現に向けて、職場ミーティングや人事評価制度の目標設定、面談などに取り組み、各職員の組織目標に対する理解向上と目的意識の高揚を図り、市民に信頼される行政を目指す。